

## 宇品カレッジⅡ期

# ひろしまをめぐる鉄の歴史

[全2回]

日本列島における鉄製品の利用は、弥生時代に始まると考えられています。その後、古墳時代には国内で鉄生産が開始され、それ以降江戸時代にかけて、中国地方では一貫して高度な鉄生産の技術が育まれてきました。

この講座では、広島県域の鉄や鉄器の生産に関係する遺跡を紹介するなかから、中国地方における鉄生産の歴史をたどります。

### ◆第1回◆ 11月15日(木)

比治山大学 教授 安間 拓巳 「鉄・鉄器生産のはじまりと展開」

中国地方は国内で最も早く鉄の生産がはじめられた地域の一つであり、その後も一貫してわが国における鉄・鉄器生産の中心地域でした。広島県域を中心とする遺跡の調査事例や文献史料を手掛かりに、平安時代までの鉄・鉄器生産の展開過程をたどります。

### ◆第2回◆ 11月29日(木)

県立広島大学 教授 鈴木 康之 「たたら製鉄の成立と展開」

江戸時代に中国山地一帯で操業された「たたら製鉄」は、この地域で高度に発展した独特の技術であり、当時の日本列島で生産された鉄の大部分を占めていたと言われます。広島県域を中心とする遺跡の調査事例を紹介しながら、「たたら製鉄」の成立・発展過程をたどります。

時 間：両日とも10:30～12:00

場 所：宇品公民館 4階 研修室1

対 象：どなたでも（全2回参加できる方）

定 員：50名（先着順）

参加費：無料

申込み：10月1日(月)より受付開始。宇品公民館へ来館または電話で

主 催：県立広島大学・宇品公民館

(公財) 広島市文化財団 宇品公民館

広島市南区宇品御幸4丁目1番2号

Tel・Fax 253-2529